**フェスタ実行委員会構成団体アンケート**

参考資料１－２

※回答団体数n=20（うち出展団体14・参加委員2・未参加団体4）

問１　貴団体コーナーの参加人数（スタンプを押した人数）を教えてください。

回答コーナー数（n=12）

|  |
| --- |
| 計　1201名 |

問２　貴団体がフェスタ参加者に伝えたかったことは、どのような内容ですか。

|  |
| --- |
| ○NPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会  無資格者の業者が横行していること、視覚障害者の適職である「あはき業」が脅かされていること、免許を持った「あはき師」で施術を受けてほしいこと  ○NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター  車椅子に乗ってもらうことで、操作の難しさ、大変さ、怖さ等を体験し理解してもらう  ○NPO法人横浜市まちづくりセンター  車椅子生活の方やその家族が、安全安心に暮らす為の気づき、配慮、工夫が必要であるという事。  ○公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会  パネル展示やクイズと通して、住まいのバリアフリーの重要性や車いす利用体験を通して、利用者への配慮  ○公益社団法人神奈川県聴覚障害者協会  聴覚障害者についての理解とコミュニケーションの方法。また、手話の魅力。  ○神奈川県手をつなぐ育成会・座間キャラバン隊  知的障害児者が生き生きと地域で暮らしていけるように、当人たちの生活を知っていただき、理解を深めていただきたいと思っています。  ○神奈川県民ホール（公益財団法人神奈川芸術文化財団）  文化施設もバリアフリー化を進めて、福祉（バリアフリー）の街づくりに参加していること。  ○神奈川県網膜色素変性症協会（JRPS神奈川）  ・網膜色素変性症の症状である視野狭窄について疑似メガネを使用して体験し、普段の生活での見えづらさや移動の困難さを理解していただく。  ・上記の手段として、白杖、音声機器等を使って体験。特に白杖歩行体験では、白杖を使用することで移動がし易くなることを体験するとともに、視覚障害者を誘導することで、街中や駅のホームで見かけたときにお声掛けする等、配慮していただくよう意識付けを行った。  ○認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド  神奈川県の子どもたちの現状と子どもたちを支える活動があること、多くの方に知っていただくこと。  ○NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク  一人では外出が難しい障がい児者や高齢者が外出するための、さまざまな取り組みが進められていることを、当事者や家族、支援者に情報を届けたること。  （市民ボランティアによる移動サービス、UDタクシー、みんなのタクシーなど）  ○NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構  人の色覚の多様性とその問題、いわゆるカラーバリアフリーについて  ○神奈川県立三ツ境養護学校（神奈川県教育委員会）  ボッチャというスポーツがどういうものであるか、ボッチャは誰でも誰とでもできるスポーツであるということ  ○NPO法人Music of Mind  ご来場の皆さんと一緒に楽しむことによって、音楽に垣根がないことをお伝えしたかったです。 |

問３　フェスタでは、参加者に伝えたいことを伝えることができましたか。次の中からあてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ） （n=13）（未回答1）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　伝えることができた 12 | ２　分からない 1 | ３　伝わらなかった 0 |

【問３で「２分からない」「３伝わらなかった」とお答えの方に】

問３－２　伝えることができなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　内容が難しすぎた 0 | ２　内容が簡単すぎた 0 | | ３　来場者に興味がなかった 0 |
| ４　当日の対応時間が足りなかった 0 | | ５　フェスタの準備時間が足りなかった 0 | |
| ６　その他（景品目当てにスタンプを押してまわる人は多かったが、その中でバリアフリーに関心のある人は少なかったように思える）　1 | | | |

問４　貴団体において、今回のフェスタで行った広報を記載してください。（○はいくつでも）(n=13)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １ | 団体内への広報用ちらし配布 | 12 |  |
|  | ２ | 広報用ちらしの一般配布（配布場所：神奈川県民ホールロビー、保健所、神奈川県ライトセンター、一部地域の郵便局、事務所内、障害者団体、かながわ県民センター） | 6 |  |
|  | ３ | インターネットでの告知  （広報手段：ホームページ・Twitter・Facebook・その他（　　　　　　） | 9 |  |
|  | ４ | 広報媒体への掲載  （具体的な広報媒体：会員向けの会報誌、かな視協便り） | 1 |  |
|  | ５ | テレビやラジオなど、マスコミを使った告知  （具体的な広報媒体：神奈川新聞　カナロコ） | 1 |  |
|  | ６ | その他（　　　　　　　　） | 0 |  |
|  | ７ | 広報は実施していない | 1 |  |
|  |  |  |  |  |

問５　貴団体以外のコーナーで、よかったと思うコーナーはどれですか。次の中から３つまで選んでください。（○は３つまで） (n=13)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | 気分らくらくクイックマッサージ  (NPO)神奈川県視覚障害者福祉協会 5 | ２ | 車いすで坂道をのぼってみよう！  &わが家のバリアフリーチェック  (NPO)神奈川県障害者自立生活支援センター 1  (公社)かながわ住まいまちづくり協会  (NPO)横浜市まちづくりセンター |
| ３ | 手話を覚えてみよう！  （公社）神奈川県聴覚障害者協会 1 | ４ | 障がいのある子ってどんな気持ち？  手をつなぐ  みんなちがってみんないい！ 1  神奈川県手をつなぐ育成会  ・座間キャラバン隊 |
| ５ | 劇場へ行こう！  神奈川県民ホール 1  （（公財）神奈川芸術文化財団） | ６ | ロービジョンを体験しませんか  神奈川県網膜色素変性症協会 3  （JRPS神奈川） |
| ７ | 多様性を認めあう神奈川に  「子どものSOSを受け止めよう」 0  （認定NPO）神奈川子ども未来ファンド | ８ | 誰でも自由に外出を楽しむための  お出かけサービスとは 1  (NPO)かながわ福祉移動サービスネット  ワーク |
| ９ | クイズで知ろう！カラーバリアフリー 4  （NPO）カラーユニバーサルデザイン機構 | 10 | みんなで作ろう!ことばで地図を！！ 2  （認定NPO）ことばの道案内 |
| 11 | ボッチャ　どうでしょう  神奈川県立　三ツ境養護学校 5  （神奈川県教育委員会） | 12 | 音楽コンサート  (NPO)Music of Mind 3 |
| 13 | バリアフリー優良事例のご紹介  神奈川県地域福祉課 1 | 14 | よかったコーナーはなかった、  わからない 7 |
|  |  |  | （他団体のコーナーを見ていないを含む） |

問６　開催場所を変更しましたが、御意見などありましたら、お書きください。

|  |
| --- |
| ○出展団体  ・自分たちのスペースで待合が作れなかったので、少し広めにスペースが欲しかった。  ・そごうという場所でありかなり多くの来客が興味を示してくれました。会場的にはベストだと思います。  ・横浜そごう9階はとても良かったです。介護フェアに来た方が寄ってくれたりしていました。  ・横浜そごう入口前の地下1階での開催ができるといいです。  ・センタープラザはエスカレーターの昇降口の近くで目立ったため、多くの人が来場されました。人の集まる商業施設等で開催するのがベターだと思いました。  ・閉鎖的な空間だったので、誰もが気楽に来られる雰囲気ではなかった。  子どもの来場がほとんどなかったのは残念。  ・駅からも近く、行きやすい場所でよかった。  ・参加者が来やすいところとしては良かったと思います。  ・前回より集客性は上がったと思う。デパートの中なので、華やかな雰囲気もある。  ・今回開催場所を継続してほしい。（お客様が参加しやすい利便性のある場所であるため。）  ・そごう９階のホールは、とてもわかりやすい場所で、一般の方も多く参加しやすいと感じました。  ・相模原、横浜のほか、県内のいろいろな場所で開催できたらよいと思います。  ・利便性は良かった。  ・介護フェアと同時開催でなかったら、集客が難しかったのではないかと思う。  ・バリアフリーフェスタを目指して来た客は少なかった（いなかった）と感じた。  ・昨年度参加していないため返答を控えさせていただきます。  ・毎年、会場によって使い方や経路、セキュリティ等が変わるので、地域福祉課職員の皆さんのご苦労 お察しいたします。  新都市ホールは初めてでしたが、駅直結だったので良いと思いました。  ○参加委員  ・会場はアクセスもよく良かったと思います。  ・みなとみらい線改札でのティッシュ配りは、効果面ではちょっと厳しかったと思う。横浜駅のような大きな駅近くでの開催は、利便性はあるが制約も大きいので、開催場所として甲乙つけがたい。爆発的な来場者が期待できないなら、「地域巡回開催」が活動理念に合致している気がします。  ○不参加団体  ・特になし。 |

問７　今回、複数のイベントと同時開催し集客増加を図りましたが、今後こうした他イベントとの同時開催についてどう思われるか、自由に記載してください。

|  |
| --- |
| ○出展団体  ・試みとして良かった。  ・多くの人がきてくれていた。  ・介護フェアのPRは多かったがフェスタのPRが少なかった。  ・介護フェアの一つとして勘違いされたこともあった。  ・色々と体験できるし、子供も楽しめるのでいいと思います。  ・バリアフリーフェスタ単独での開催では集客が難しいので、同時開催などで双方が協力できるといいです。  ・「集客」という意味では良いと思いますが、意識の高い方や目的がはっきりしている方の来場がメインとなるため、まだ知らない方に知ってもらう「周知」という意味では、同時開催イベントの内容も工夫が必要だと思います。  ・同時開催は集客増加につながるとは思うが、バリアフリーフェスタの趣旨が伝わりにくいのではないかと思った。  ・今回終了時間を介護フェアと同じにして終了時間が５時になりましたが、できれば４時にしていただきたいと思いました。合わせなくてもよいのではないと思います。  ・予算とスタッフ数次第だと思います。  それが確保できなければ、予算の大きいイベントに便乗するのもやむを得ないと思います。とにかく人に来てもらわないことには意味が無いので。とはいえ、いずれは独立したイベントにしたいです。  ・単独開催よりも他イベントとの同時開催のほうが集客力があり、今回同様の開催方法を継続することを希望。  ・良かったとおもいます。もっと一体感があるような仕掛けがあると、より魅力的になるように感じました。  ・介護フェアとの同時開催は成功だったと思います。はじめは集約に不安がありましたが、事前の広報や、当日の呼び込みの成果でしょか、混乱するほどでもなく、寂しいことも全くなく適度な来場者があってよかったです。  ・基本良いはずだが、主従関係ができていたのが気になりました。1つのイベントとしてできた方が良かったと感じました。  ・規模が大きくなりすぎなければ、集客増加と体験者増加の両方が望めると思います。  ・荒木由美子さんの講演会が大変好評だったようで、集客が見込めたのではないでしょうか。単独で行うよりも集客が見込めるように思います。  ○参加委員  ・やはり単独開催ですと、会場を選ばないと集客は難しいかと思われます。  ・他のイベントとの同時開催の方が集客は伸びると思われます。  ・抱き合わせでなく独自開催が望ましいと思うが、現時点では知名度も、県民の興味も、魅力的な内容と言う面でも集客力が望めないので仕方ないと思う。  ・バリアフリーのまちづくりを浸透させるために、いかに魅力的なフェスタに発展させるかが大きな課題だと思う。例年通りでいいんだという考え方であれば、どんなイベントと一緒に組むのか実行委員会で議論してはどうか。例えば、福祉とは関係がないイベントでも、普段バリアフリーに触れることがない多くの人たちに、バリアフリーを体験してもらうというのは、フェスタの理念に合致する考え方だと思う。  ○不参加団体  ・併催イベントとは、早期に調整した方が良いと思われる。  ・特になし。 |

問８　今回、バリアフリーフェスタとして一体感を出すため、関係スタッフでピンクシャツデー

のTシャツを着用しましたが、スタッフ間で同じものを着用することについて御意見、御感

想などありましたら、お書きください。

|  |
| --- |
| ・良かったと思います。  ・一体感があって気持ちもそろった感じがします。  ・アピールになっていいと思います。  ・良かったと思います。  ・誰がスタッフかすぐわかり、またスタッフの一体感があってよかったと思う。  ・わかりやすくて良いと思いました。  ・結果的にとても良かったと思います。もし望めるなら、やはりバリアフリーフェスタオリジナルのシャツが欲しいです。  ・スタッフであることを明示することが出来、また、一体感を醸成することも出来たので、良かったと思う。  ・デパートに買い物にいらした一般の方が、ピンクのＴシャツに目をとめて、「なにかやっているんですか」と参加してくれました。より多くの方に知っていただくことに意味があるイベントなので、良かったとおもいます。  ・とても良かったと思います。提供いただいたNPOさんに感謝いたします。  ・着用ならやはり「バリアフリーフェスタかながわ」と描かれたものが良いです。ビブスとか安く作れないでしょうか。  ・スタッフであることが、お客様に見てわかるので、良いと思います。  ・スタッフ間、イベント団体間に一体感が出ました。  ・今回は無償で提供していただきましたが、有料となると二の足を踏んでしまいます。  ・統一感があり分かりやすく、良いと思います。提供いただいた委員に感謝いたします。  〇参加委員  ・同じ服の着用は一体感が出るのと、外部から見てもスタッフと分かるので声をかけてもらうことが多く、良かった。  ・シャツのセンスも良く、フェスタが華やかになり、非常に良かったと思います。ぜひ来年もやっていただきたいです。  〇不参加団体  ・特になし。  ・今回は、実行委員会団体の「善意」でTシャツが準備できたが、今後、本フェスタを継続する  場合は、県事務局で予算を確保し「バリアフリーフェスタ用」の機材として準備すべき。 |

問８　次回フェスタが開催されるとしたら、また参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。（○は１つ） (n=19)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　参加したい 14 | ２　分からない 3 | ３　参加したくない 1　４　未回答　　1 |

【問８で「２分からない」「３参加したくない」とお答えの方に】

問８－２　参加したいと思えなかった理由は何ですか。（○はいくつでも） (n=4)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １ | 準備する時間がない 1 |  | ２　スタッフが確保できない 3 | |  | ３　予算がない 2 |  |
|  | ４ | 団体の取組みと  フェスタの趣旨が違った 1 |  | ５　効果が少ない 0 | |  |  |  |
|  | ６ | その他　2  （・宿泊施設として全面的にバリアフリーに取り組んでいることをアピールするのは難しい。・本会としては、現在、直接県民にPR出来る体験型バリアフリー関連事業を行っていないので単独出展は困難。本会としての関わり方は今後、検討を要する。） | | | | | |  |
|  |  |  | | |  | | |  |

問10　次回フェスタが開催されるとして、何か課題がありましたら、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| 〇出展団体  ・開催時間を１７時ではなく１６時か１６時３０分でもいいんじゃないかと思います。  ・横浜そごう入口前の地下1階での開催ができるといいです。  ・当日の搬入、搬出作業がほとんど無く、非効率でした。  ・アリオ橋本のようなオープンスペースで、子どもや家族連れが多く集まる場所がいいと思う。  ・音楽コンサートをやっている同じ空間（ドアの仕切りがないところ）で、手話を覚えてみようのコーナーがあり、説明の声が聞こえなかったという意見があった。  ・一般の人が参加しやすい場所  ・とにかくもっと広報しましょう！先ず、記者発表はしましょう。何かと手伝えると思います。  それとチラシデザインの見直し、これも手伝えます。  ・候補地は、商業施設内か大学がいいと思います。  ・全てのブースが分かり易いように順路テーブルにする等、配慮が必要と思います。  ・白杖歩行体験を行うに十分なスペースが確保されてなかった。  ・実行委員会との連携等、当協会としても準備担当確保の必要性を感じた。  ・体験型を実施するにあたり、我々として事前の準備（学習等）の必要性を感じた。  ・みなとみらい線の改札口で、案内のティッシュを配りましたが、そごう前から距離があり、  集客につながったのかどうか不明です。神奈川県の取組みを知っていただくことはできましたが。  ・会場にUDタクシーや福祉有償運送の福祉車両を見てもらえるスペースが欲しいです。  ・屋外になるので難しいとは思いますが、好条件の開催場所があれば嬉しいです。  ・アリオ橋本のようなショッピングセンターで別の場所で行う、又は他のお祭り（イベント）と抱き合わせるのを検討しては。  ・今回はそごうの中で行ったので、買い物に来た方にも参加いただけました。フェスタを目的に来てくださる方も大切ですが、その場で参加いただいた方、普段、バリアフリー関係になじみのうすい方など、流動的な参加者を多く取り込めた気がしました。次回もそのような場所が良いかと思いました。  ・3回連続出演させていただき、ありがたく思います。音響設備の用意・要望等で県職員の皆様にご面倒をお掛けしてしまう点が、申し訳なく思います。  ○参加委員  ・今回会場のアクセスはよかったが、介護のイベントと一緒だったせいか、高齢の方が多かった。次回はもっと、子供たちが集まるような場所で出来たら良いかと思われます。  ・実行委員や参加団体について、県民会議以外の様々な団体や企業が積極的に参加できるような工夫があるといいと思う。また、地域連携を積極的に行うべきだと思う。毎年実施する地域を変えながら地域連携（自治会・教育委員会、商工会等）を図って、面として活動を広げていくというアイデアをぜひ検討していただきたい。実行委員会の苦労や県の負担などを考えても、より効果的な啓蒙活動に結び付けたい。  ○不参加団体  ・特になし。 |

問11　御意見や御感想などありましたら、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| ○フェスタ出展団体  ・私たちのブースは音が頼りなので、ステージが近いとなかなか難しい状況のため、次はその点にご配慮いただければ嬉しいです。  ・楽しかったです。お疲れ様でした。  ・入り口がわかりにくく、中まで入ってきにくかったのではないか。  ・2020年夏のオリパラが終わると、世間のバリアフリーへの関心は低下します。バリアフリー社会を目指そうという機運の高まりも、このフェスタがそれに一役買えるのも、来年がピークです。なので、関係者だけではなく、一般の人にももっと訴求して、2021年以降もバリアフリーに意識を向けてくれる人を増やしておく、そんなフェスタがいいですね、来年は。  ・当協会として初めての参加であったため、当日の流れがよくわからないまま入ってしまった。体験型イベントということで来場者にレクチャーする機会が多かったが、分かり易いように説明する難しさを実感し、事前の準備、学習の必要性を感じた。  ・ロービジョンって何？と聞かれる方や、身近に緑内障、糖尿病から見えにくくなっていると言われても良くわからなかった方が、体験メガネを掛けて大変さが解って良かったと言っておられ、少しでも理解して頂けたのかなと思います。  ・知事も含めた晴眼者の方たちの疑似体験後の感想として、視野狭窄であることの見えづらさ、大変さ実感されていました。また、白杖を持っている方に対する「声掛け」に対して躊躇がありましたが、今後は積極的に声掛けを心掛けると言った言葉も聞かれ、一定の理解が見られたと感じます。  ・共生社会定着拡大のため今後とも継続開催を希望します。  ・多くの方が参加されていて、とても楽しいイベントでした。ありがとうございました。  ・知事が、各ブースで、それぞれの取組みに耳を傾けてくださったのが印象的でした。  ・スタンプラリーを目的にブースに来る方にも、団体の活動をお話したり、パンフレットを受け取っていただくことができました。また、スタンプ目的ではなく、話を聞きにきてくれた方も１０人ほどいらっしゃいました。普段は出会うことのない方々に対して、バリアフリー社会の実現に向け活動している団体が数多くあることをアピールする良い機会になったと思います。  ・スタッフの方々には、丁寧に対応していただきまして、ありがとうございました。  ・様々なかたちのバリアフリーに一度に触れることができる機会でした。  ・皆様のご配慮のお陰でご来場の皆様に喜んでいただけた気がします。ありがとうございました。  今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。  ○フェスタ参加委員  ・今回のフェスタは多くの来客もあり、スペースも程よくコンパクトで、例年通りか昨年より活気も感じて良かったと思う。これで良しとはせずに、より魅力的なフェスタへと発展していくべきだと思う。今回の倍の集客、倍の影響力を目指すとしたら何が必要なのか、そういう議論も必要だと思う。  ○フェスタ不参加団体  ・例年通り、賞品の提供のみの協力で申し訳ありません。  ・今回は、フェスタをお手伝いすることができず、申し訳ありませんでした。  ・個人が全部準備まで参加するのは時間的に難しいです。 |